



2020年11月20日

登録会員各位

東京2020パラリンピック競技大会の日本代表推薦選手の選考について(2020年11月改定)

特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟

特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟（以下本連盟）は、2020年8月17日に公表済みの内容を一部改定して、下記のとおり選考委員会において選手選考を行い、理事会で承認し日本パラリンピック委員会(以下 JPC)へ推薦いたします。

記

1. 選考対象条件

1.1) ～ 1.4) を全て満たしていること。

1) 2021年度本連盟登録会員であること。

2) 2021年シーズンIPC選手登録し、ライセンスを取得していること。

3) World Para Athletics(以下 WPA)の国際競技クラスが確定し、国際競技クラスステータス“New”、“Review”、“Confirmed”のうち、**JPC への推薦およびエントリー等の手続きまでに、“Confirmed”であること。**

なお、国際競技クラスと国際クラスステータスについて次のサイトで確認できます。

<https://www.paralympic.org/athletics/classification/master-list>

※WPAより、選考対象条件のうち国際競技クラスステータスに関して、知的障害陸上競技についてはステータスが“Confirmed”であることが選手の参加条件であることが明らかにされました。

4) IPCの公表している東京大会選手出場資格および実施種目エントリー標準記録を突破していること。

2. 選考基準

1) 2019 Dubai WPA 世界パラ陸上競技選手権大会（以下2019世界パラ陸上）で4位以内入賞した選手であること。（本連盟は該当者なし）

2) 出場資格ランキング枠該当選手

WPA Rankings - Tokyo 2020 Paralympic Games - 24 month ranking（2019年4月1日～2021年4月1日）6位以内の者。

3) ハイパフォーマンス標準記録突破選手

2018年10月1日～2021年6月(日付未定)までのWPA公認大会においてハイパーフォー

マンス標準記録を突破した選手の数に基づき、WPA より出場枠(以下、HPS 枠)が割り当てられる。前述の 2.1)、2.2)において、出場枠未獲得の者で東京大会 8 位入賞の可能性のある選手を対象に、選考委員会にて HPS 枠での推薦順位を決定する。したがって、すべてのハイパフォーマンス標準記録突破選手が東京 2020 パラリンピック競技大会に出場できるものではない。なお、推薦順位に関する規定は別に定める。

- 4) 同一種目において、前述の 2.1)と 2.2)と 2.3)の合計選手数が 3 名を超える場合に限り、2.1)の選手を最優先し、次に 2.2)の上位者から順に選考し、最後に 2.3)の上位者から順に最大 3 名まで選考する。

3. その他

- 1) 本選考基準は IPC の公表している東京大会出場資格「Tokyo 2020 Paralympic Games Qualification Regulations」により定めている。
- 2) 本選考基準の他に IPC より出場選手の割り当てがあった場合、選考委員会で協議し理事会で対応を決定する。
- 3) 本連盟より JPC へ推薦した選手が、次に該当する場合は理事会にて審議し推薦を取り消すことがある。
 - ① 国際クラスステータスが東京大会出場資格基準を満たさなかった場合
 - ② アンチ・ドーピング規則違反が認められた場合
 - ③ 東京大会までに医学的問題で競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - ④ 代表選手として不適切な行動が認められた場合
 - ⑤ その他出場不可能な事態が生じた場合
- 4) 「24 month ranking (2019 年 4 月 1 日~2021 年 4 月 1 日) 6 位以内の者。」の出場枠について「1. 選考対象条件」を満たさない場合には、その当該出場枠の取り扱いを選考委員会で協議し理事会で対応を決定する。
- 5) 登録会員が本選考基準について異議のある場合、本選考基準(2020 年 11 月改定)公表後 1 週間以内に当連盟事務局まで電子メールにて連絡することができる。異議については理事会で審議し、対応は当連盟 HP で公表する。

日本知的障がい者陸上競技連盟事務局電子メールアドレス:jidaf.jimukyoku@yd6.so-net.ne.jp

以上